

2025年 4月

天使の卵

村山由佳

1994年に出版されたものです。本書は、小説すばる新人賞受賞作で、村山さんはのち2003年に『星々の舟』で直木賞を受賞されています。読んでいてなんとも若々しい新鮮な中でも、著者の思慮深さがうかがえます。なるほど、新人賞でこのような作品を書かれる人が、のちの直木賞受賞作家になるんだと、こんな私にでも感じるものがありました。

「最初の機会で恋を感じないなら、恋というものはないだろう」は、イギリスの劇作家マーローという方の言葉だそうです。この書き出しからある程度のストーリーの予感でしたが、後半の展開がよく作られている印象を受けました。季節的に春が出てきますので、この時期のおすすめ本にしたいと思います。ぜひお読みください。・・・続編、天使の梯子もぜひ！

